

令和8年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	40	学校名	東濃実業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域の産業教育を担う高校として 地域や企業、大学等と協働した主体的、専門的、実践的な学びを通して グローバルな視点で力強く生き抜く人材の育成を目指す学校	
学校教育目標 (教育方針)	◎地域の未来を創出する人材の育成 他者とのかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備えるとともに、確かな教養に裏付けされた専門的知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける人材を育成します。	
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・ 将来のリーダーに必要な、公共の精神と対話力・コミュニケーション力を身に付け、仲間と協力して課題解決することができる生徒（うごかす力） ・ 基礎学力を着実に身に付け、自分自身の未来を見据えながら自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒（つなぐ力） ・ グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けた生徒（つくりだす力）
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・ 生徒一人ひとりの個性や適性に合った学びを実現するためのカリキュラム編成ときめ細やかな指導の実施 ・ I C Tを活用し、自ら学び続ける意欲を持たせるための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・ S D G sを意識し、変化する産業構造を見据えながら、地域の大学や産業界との連携、協働による実践的な専門教育を推進
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	・ 部活動や生徒会活動を含めた学校でのあらゆる活動を通して、自己を見つめ、仲間と協働し、人間性を高めようとする生徒 ・ 向上心を持ち、自ら学び続けようとする主体性のある生徒 ・ 商業・生活産業に関わる学習内容に興味があり、地域社会で活躍する「夢」に向かって努力する意欲のある生徒
学校の抱える課題	生徒指導：SNS起因のトラブルが増加し、情報モラルの継続的指導やライフスキル育成が必要 基本的な生活安全（ヘルメット着用等）の徹底が課題 進路指導：進学率増加に伴い、学校推薦型選抜への対策が遅れる生徒が増加 またキャリア・パスポート等デジタルツール活用の定着が課題 学習指導：家庭学習習慣の確立が不十分、学力差の大きい生徒が増加 授業改善の共有体制や学びの分析に基づく指導の組織化が課題 地域連携：各学科の地域連携の取組を継続しつつ、生徒の授業時間の確保や教職員の働き方改革との両立が課題 教職員：業務の多様化や複雑化による負担を軽減しつつ、教職員の時間外在校時間を適正化し、心身の健康を維持できる職場環境の整備が課題	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	生徒指導	うごかす力（心豊かな人間性）の育成 人権教育の推進を図り、他者との協同・協調活動を通じて、自他を大切にする。あらゆる活動を通じて、対話力・コミュニケーション力を高め、リーダーシップを醸成する。
	進路指導	つなぐ力（自ら学ぶ力）の育成 基礎学力の定着を図り、将来を展望し、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒を育成する。生徒が主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。
	学習指導	つくりだす力（専門的知識・技術）の育成 基礎基本と専門的な知識・技術を段階的に身に付け、地域社会の課題解決や新たな価値の創出に生かす力を育成する。
	学校経営	R I S E 地域とともに挑戦し、学び、進化し、未来を創る 魅力ある教育活動の発信 生徒も職員も通いたくなる学校。

年度目標				年度末評価（自己評価）			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
生徒指導	教育相談の充実 ・生徒一人一人に寄り添い、心の成長や発達に繋がるよう支援	施策Ⅰ-1	年2回の教育相談週間の実施、 SC・S相・SSW等との連携による 早期対応				
	交通安全指導 ・職員・生徒の交通安全意識向上	施策Ⅲ-19	ヘルメット着用率の向上 MSリーダーズ加入者増加				
	校則の見直し ・社会環境の変化に適切に対応し、自ら判断し行動できる力を身につける	施策Ⅰ-7	生徒・保護者・地域の意見を反映 した校則の見直しの推進				
	人権尊重の価値観や態度 ・認めて、褒めて、伸ばす指導	施策Ⅰ-2	人権講話による差別偏見防止、 誹謗中傷への指導、認め褒める指導 とあずさカード活用				
進路指導	生徒の主体的で前向きな進路選択・決定のための支援 ・適切な情報提供を行い、学年に応じた段階的な支援	施策Ⅳ-23	進路に関するLHRの実施回数年間10 回以上				
	ポートフォリオの活用 ・学びの記録を見返し、進路選択と自己分析、自己実現をさせる	施策Ⅳ-24	進路希望100%実現				
	生徒が自己の在り方生き方を考えられる支援 ・ワークシートや進路の手引き、外部講師を活用したLHR	施策Ⅱ-13	活用するワークシートや進路の手 引きへの記入、まとめの内容				
	全職員による支援体制 ・小論文、面接、インターンシップ、卒業生と語る会等の実施	施策Ⅰ-1	インターンシップ先からの評価及 び自己評価				
学習指導	研修・研究を通した授業力・指導力の向上 ・教員間で情報共有し、学び合いながら教育活動の質を高める	施策Ⅳ-26	各教科研究授業の実施（教科研究 授業・教科研修会の実施）				
	主体的・対話的で深い学びと言語活動の充実 ・生徒の学びの事実を分析・検討し、授業改善につなげる	施策Ⅳ-23	授業評価アンケートで「授業に満 足している」90%以上				
	基礎基本の定着と個に応じた学習支援 ・基礎基本の定着を図り、多様な実態に応じた支援を進める	施策Ⅱ-8	定期考査における成績不振生徒5% 以内				
	東実の魅力が伝わる広報の研究・実践 ・学校Webサイト、SNS等を活用し、東実の学びや魅力を発信する	施策Ⅳ-20	志願者1.5倍（R8年度比較）				
学校経営	R 地域とつながり、支え合う学校 ・地域と協働し、広報・通学環境・地域連携の課題を改善	施策Ⅰ-4	地域・企業・自治体・学校運営協 議会等の外部評価 入学志願者の増加				
	I 新しい時代を切り拓く力 ・学びの充実による基礎学力の定着と主体的な力の伸長	施策Ⅱ-13	学校評価アンケートの生徒評価 定期考査や外部試験の結果				
	S 何事にも前向きに取り組む力 ・生徒の成功体験を増やす行事・活動や支援を計画的に実施	施策Ⅳ-20	学校評価や各行事のアンケート結 果 行事・活動・支援の実績				
	E 人を支え、社会に貢献する力 ・業務改善を進め、教職員が支え合う体制の整備	施策Ⅳ-27	労務管理（時間外労働、ハラスメ ント等）における実績				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和9年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和9年 月 日